

会 議 録

| | | | |
|--------------------|---|------------------------------------|-------------------------------|
| 会議名 | 第2回光が丘地区まちづくり会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通) | | |
| 開催日時 | 令和3年10月7日(木) 18時00分～20時30分 | | |
| 開催場所 | 光が丘公民館 大会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 24人(別紙のとおり) | |
| | その他 | 2人(光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会2人) | |
| | 事務局等 | 4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人) | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 | <input type="checkbox"/> 不可 | <input type="checkbox"/> 一部不可 |
| 傍聴者数 | | | 1人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討について</p> <p>(2) 光が丘地区の公共施設再編に向けた取組について</p> <p>(3) 光が丘地区の課題への取り組みについて</p> <p>(4) 光が丘地区地域ケア会議の取り組みについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、●は事務局の発言、■は担当課の発言)

1 開 会

割柏会長が開会

2 あいさつ

割柏会長あいさつの後、光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会の酒井会長、浅見副会長の紹介が行われた。

3 議題

(1) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討について

光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会の酒井会長あいさつの後、学務課より検討結果及び市の対応方針について説明があった。

<説明要旨>

少子化の進行により光が丘地区の小学校の児童数は減少し、今後は令和4年度に青葉小学校、令和5年度に並木小学校で1学年1学級となりクラス替えのできない学年が発生し、過小規模校になることが予測されることから、望ましい学習環境のあり方を検討するために「光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」を平成30年8月に設置した。

9回の検討協議会及び保護者へのアンケートを実施した上で、4小学校のうち過小規模校となる見込みである青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校の3小学校に再編することを短期的な方向性とし、また、同じく過小規模校となる見込みである並木小についても、隣接している小学校と今後協議していくことを次期の方向性として検討結果報告書にまとめ、令和3年5月10日に検討協議会から教育長へ提出した。

報告書を受け、市として検討し、令和3年8月の教育委員会定例会にて、令和7年4月を目途にするという時期を追加させていただいたうえで、青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校の3小学校に再編する対応方針を決定した。

通学関係や教育関係など再編にあたって生じる課題事項について整理し、市及び教育委員会として課題解決にあたっていきたいと考えている。

具体的には、学区が変わることで通学距離が長くなることや、今まで通っていた学校から変わってしまうような学区の再編を行うため、通学する学校を選択できるように指定変更許可区域を設定するなど、学区については弾力的に考えてい

きたい。期間を設定するのか、永年的に指定変更許可区域を設定するのかは今後議論していきたい。

また、青葉小学校の中には放課後子ども教室、児童クラブが入っているため、今後どのようにしていくのかは課題事項としてしっかりと対応していきたい。

保護者・地域の方への説明については、検討協議会の中で時期や規模を諮りながら実施していく。また、並木小学校についても検討組織を立ち上げてしっかりと検討をしていきたい。

<主な質疑・意見等>

○並木小学校の再編時期は決まっているのか。

⇒■これから検討組織を立ち上げ、最低でも1、2年は検討期間として必要であり、準備も含めると青葉小学校閉校の令和7年4月から少なくとも2、3年は遅くなると想定している。

○指定変更許可区域を設定することで中学校を選択できるようになる反面、緑が丘中学校の生徒数が増えない可能性がある。この点については市としてどのように考えているのか。

⇒■指定変更許可区域については弾力的な運用が必要であると考えている。時限的な措置とするか、永久的な措置とするかは皆様の意見を伺い、児童生徒の推計を見ながら慎重に検討していきたいと考えている。

○並木小学校に関する検討協議会については改めて編成されるのか。

⇒■次期の方向性については光が丘地区に加えて、中央地区の弥栄小学校、中学校エリアの方々にも加わっていただき、組織を編成することを検討している。

○保護者や地域への説明会はどのような形で開催されるのか。

⇒■具体的な説明方法については学校、検討協議会と調整しながら進めていきたいと考えている。

(2) 光が丘地区の公共施設再編に向けた取組について

経営監理課より光が丘地区の公共施設再編に向けた取組について説明があった。

<説明要旨>

昭和40年～50年代の人口急増期に整備された学校や公民館などの多くの公共施設が今後一斉に建替え時期を迎えることとなる。人口減少・超高齢化が見込まれる中で財政面から今あるすべての施設をこれまでと同じように維持していく

ことは困難であることから、持続可能な公共サービスを提供するための施設のあり方を考え、公共施設マネジメントという取り組みを進めている。

光が丘地区の公共施設の状況と課題としては、療育センター陽光園、陽光台保育園など、地区内の子どもに関する公共施設の多くが40年以上を経過しており、建替えなどを検討する時期を迎えている。陽光園、陽光台保育園は築46年となっており、これまで大規模な改修が行われていないことから老朽化が進んでおり、大きな課題となっている。また、学習環境のあり方検討協議会の報告書を受け、市教育委員会において、令和7年4月を目途に青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校に再編するという対応方針が定められた。

地域の課題としては、人口推計で2020年と比べて、2060年は人口が約33%減少すると予測されていることや、平成30年の光が丘地区まちづくり会議報告書の中で、課題事項として少子化の進行による学習環境への影響の懸念や、子どもたちが自由に遊べる場所が減少していることなどから、統廃合となった場合の小学校の跡地活用の検討が挙げられている。

このような地域または行政運営上の課題を解決していくために市民対話を通じて検討していきたいと考えている。

市としての公共施設再編の取組の方向性として、青葉小学校の閉校後の跡地(既存ストック)は「避難所としても使える、子どもや地域の活動の場」を基本とした利活用を検討することや、既存ストックの活用を想定した公共施設の再編・再整備を地域とともに考えていきたい。

市の方針として療育センター陽光園、陽光台保育園で利活用していきたいということを必須で考えており、仮定の話であるが、療育センター陽光園、陽光台保育園が青葉小学校に現在の規模で入ると7割程度となる。

再編後に生まれる未利用資産(現療育センター陽光園の土地など)は公共施設再編を進めるための財源確保策として、売却や貸付などを検討している。

検討の進め方については、市民対話ワークショップにより幅広く市民の皆様にご参加いただきたいと考えている。来年3月までにワークショップとして跡地活用の検討結果を報告書としてまとめ、今後の基本構想を策定していく予定である。再編の考え方、配置プランなどの検討に3年、設計・工事に4年程度かかることが想定されている。

ワークショップは令和3年11月から令和4年2月頃まで全4回を予定しており、ワークショップ以外にオープンハウスも実施したいと考えている。まちづくり会議の皆様には参加者のご推薦をお願いしたい。

<主な質疑・意見等>

○まちづくり会議からの委員選出については、次回会議の中で決めていきたい。

○ワークショップ4回で意見をまとめることができるのか疑問がある。議論が不十分だった場合、新たに実施する考えはあるのか伺いたい。

⇒■あくまで目標として4回と設定させていただいているが、深掘りした議論が必要であるといった場合などについては継続してワークショップを実施するなど、柔軟に対応していきたい。

○第1回ワークショップの開催日時である11月27日13:30～14:30に市PTA連絡協議会の上溝緑ブロックにて講演会を実施することとなっており、PTA関係者が出席できなくなってしまうため、日時の変更を検討していただくことはできないか。

⇒■時間変更など持ち帰り検討させていただきたい。

○参加者の構成団体が既に決まっているが、申込書の提出が必要か。

⇒■後日、各団体へ推薦の依頼文書をお送りさせていただくので、団体の中から参加者をご推薦いただき、提出していただきたい。

■ワークショップに様々な世代の方に参加いただきたいと考えているため、区内の学生などへのお声がけをお願いしたい。

(3) 光が丘地区の課題への取り組みについて

各部会の取り組みについて報告があった。

【まちづくり部会】

平林まちづくり部会長より報告があった。

淵野辺公園留保地にパークゴルフ新コースを設置するため、8月19日(木)に草刈りを実施した。パークゴルフ協会において改めて草刈り後の現場を確認したうえで、新コース案を作成していただいた。新活用エリアに3コース設置予定である。

10月30日(土)に新コース整備に向けた草刈り等の作業を実施するため、まちづくり会議の委員の皆さんにもご協力いただきたい。作業後のコース設置作業についてはパークゴルフ協会にて行う。

上溝団地について、県HPに入札公告が公開された。令和4年1月17日に業者は提案書を提出し、5月に落札業者が決定、公表される予定である。令和10年に団地が完成し、令和11年8月31日に本移転が完了するスケジュールとなっている。

南委員より要求水準書の要約に関して説明があった。詳細資料については県H

Pに掲載されているため、必要に応じて確認いただきたい。

【子育て環境・健全育成部会】

加賀谷委員より報告があった。

小学校の校庭や、放課後の時間の使い方などに焦点を当てて、検討を進めていきたい。具体的には放課後の校庭の使い方や平日の子どもの遊び方などを見学に行き、実際に学校で働いている方などから情報収集することで、小学校における校庭の開放・利用について検証していく。

また、青葉小学校の跡地活用に対して、子育て環境・健全育成部会から意見が出せるよう準備をしていきたいと考えている。

【安全・安心部会】

新型コロナウイルス感染症の影響により、部会を開くことができていないが、子どもの飛び出しに関する注意喚起について検討していきたい。

(4) 光が丘地区地域ケア会議の取り組みについて

光が丘地域包括支援センター前田委員より光が丘地区地域ケア会議の取り組みについて説明があった。

地域ケア会議の地域づくり部会では地域の高齢者福祉に関する事項を検討しており、まちづくり会議の中で情報提供させていただきながら、地域の皆様の目線に沿ったものとしていきたいと考えている。

光が丘地区においては、作業グループに分かれて課題に取り組んでいる。昨年度までの取り組みとして、百歳体操の推進や光が丘買い物お助け隊（買い物お太助カー）などがある。

ふれあいセンターで行っている百歳体操については、新型コロナウイルス感染症の影響により休止中であるが、活動を再開できるよう努めていく。また、老人クラブの会員減少に関する課題の検討や、大型ごみや大型家電の運送に困る高齢者のためのサポートカー運行に関する検討を作業グループごとに進めていきたい。

<主な質疑・意見等>

○光が丘連絡所廃止後の検討についてはどのようなになるのか。地区社協の事務室が狭いため、廃止後の建物へ移転を要望したい。

⇒○廃止については話を承っており、廃止後の利活用については改めて地域と相談いただけると伺っている。

○地域づくり部会は住民同士の支えあい活動を推進しているが、まちづくり会議の委員の皆様からも課題事項があればぜひ意見を頂きたい。

4 その他

○中央区と協働し、中央区みらい協働プロジェクトとして「中央区ぶらさんぽ」を実施しており、今年度は光が丘地区と中央地区が対象となっている。11月28日（日）に人数を制限しながら実施することが決まっている。詳細は地域情報紙に掲載をするが、今までと異なり、新型コロナウイルス感染症対策として事前申し込みが必要となる。

○光が丘地区こども応援団にて地域活性化事業交付金を活用し、わんわんパトロールの登録会を10月10日に実施した。登録証、バンダナ、バッグを配布し、地域内をパトロールしていただく予定である。

先日、光が丘こども未来ワールドに関する大人での会議を行った。YouTubeチャンネルを開設し、子どもたちが地域の各所を紹介する動画を撮影、編集をしていくことを考えている。今年度3月ごろ開始し、来年度活動を進めていきたい。

○上溝緑ブロック家庭教育事業として、11月27日に動画配信を実施するので、ぜひご覧いただきたい。

5 閉会

割柏会長が閉会

以上

光が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

| No. | 団体等 | 団体での役職等 | 氏名 | 出欠 |
|-----|-------------------------------|----------------------|---------|----|
| 1 | 光が丘地区自治会連合会 | 会長 | 割 柏 秀 規 | 出席 |
| 2 | 光が丘地区自治会連合会 | 副会長 | 岡 林 俊 一 | 出席 |
| 3 | 光が丘地区自治会連合会 | 副会長 | 阿 部 俊 夫 | 出席 |
| 4 | 光が丘地区自治会連合会 | 副会長 | 鈴 木 勝 雄 | 出席 |
| 5 | 光が丘地区自治会連合会 | 副会長 | 南 雄 二 | 出席 |
| 6 | 光が丘地区社会福祉協議会 | 会長 | 飯 沼 守 | 出席 |
| 7 | 光が丘地区社会福祉協議会 | 会計 | 小 山 千 秋 | 出席 |
| 8 | 光が丘地区民生委員児童委員協議会 | 会長 | 西 田 洋 子 | 出席 |
| 9 | 光が丘地区民生委員児童委員協議会 | 副会長 | 石 井 和 子 | 出席 |
| 10 | 光が丘公民館 | 館長 | 加賀谷 育 子 | 出席 |
| 11 | 光が丘公民館 | 青少年部長 | 佐 伯 行 弘 | 出席 |
| 12 | 陽光台公民館 | 館長 | 小 倉 偉 男 | 出席 |
| 13 | 陽光台公民館 | 青少年部長 | 市 川 善 朗 | 欠席 |
| 14 | 光が丘地区子ども会育成連絡協議会 | 会長 | 羽 鳥 亜樹子 | 出席 |
| 15 | 老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区) | 光が丘地区 | 佐 藤 健 司 | 出席 |
| 16 | 光が丘地区交通安全母の会 | 会長 | 篠 宮 さつき | 出席 |
| 17 | 交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部) | 光が丘支部 支部長 | 服 部 幸 一 | 欠席 |
| 18 | 小学校PTA | 並木小学校PTA副会長 | 岩 山 仁 美 | 出席 |
| 19 | 中学校PTA | 緑が丘中学校PTA会計 | 菅 沼 歩 美 | 欠席 |
| 20 | 小・中学校長 | 青葉小学校校長 | 久 保 高 志 | 出席 |
| 21 | 和泉短期大学 | 教授 | 井 狩 芳 子 | 出席 |
| 22 | 青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区) | 陽光台地区 | 岡 見 益 義 | 欠席 |
| 23 | 防災専門員・防犯指導員 | 防犯指導員 | 金 子 野武男 | 出席 |
| 24 | 避難所運営協議会 | 光が丘小学校 避難所運営協議会会長 | 青 木 進 一 | 出席 |
| 25 | 光が丘高齢者支援センター | 係長 | 前 田 真由美 | 出席 |
| 26 | 一般社団法人光が丘ふれあいセンター | 代表理事 | 平 林 清 | 出席 |
| 27 | 有識者 | | 石 井 トシ子 | 出席 |
| 28 | 有識者 | | 西 本 敬 | 出席 |